

暑い日々が続いています。最高気温が35℃を超える猛暑日に外へ出ると、日差しが直接肌を焼き付け、日焼けどころか本当に焼きあがってしまうのではないかと思えます。涼を求めて日陰に入ってもビルの外壁や路面からの照り返しで、まさに天然のオーブンです。唯一、出入り口から漏れて来る冷房の涼風で一息つけます。木陰は少し涼しいものの、吹いてくる風は熱風そのもの。こんな日はエアコンの効いた部屋でごろ寝が一番と思いつつ、以前、アルバイトで炎天下の中、海水浴場脇の道路を工事していた時に、海水浴客と自分の置かれた状況のギャップに、体感温度が増幅されたことを思い出してしまいました。

そして夜は夜で最低気温が25℃を下回らない熱帯夜が、これに追い打ちをかけるように続きます。熱帯と言われているシンガポール、マレーシア、インドネシアといった国々の夜は熱帯夜ではないことが多く、「なんと失礼な言葉」と思っているうちに睡魔に襲われて寝るものの、どうも睡眠の質が良くありません。

さて、暑さや睡眠不足は人の集中を切らす大きな要因です。スポーツの世界では集中が切れると明らかにパフォーマンスが落ちます。仕事では能率が下がり、ミスも多くなり、場合によっては事故につながります。最近ファン付きの作業衣（音はうるさいがそれなりに涼しい）や暑さ対策グッズが各種販売されているので、これらを活用しつつ、日本中の人が、事故のない夏を過ごすことができればいいと願っています。 (I.O)

今号では、光通信工事技能競技会特集を掲載しております。開催日当日は18台ものビデオカメラを用意し、出場選手の会社ごとに競技模様をITEA Webサイトでライブ配信しました（事前登録者のみ視聴可）。リアルタイムの生ライブ配信のため、現地まで足を運ばない同じ会社の人も、応援に熱が入ったことでしょう。

似たような技能競技会で、そこまで力を入れているところはあるだろうかとネット検索してみたところ、電力線系の団体や業界紙のWebサイトが記事掲載していましたが、動画掲載しているサイトはその約半数ぐらい。どれも事後のダイジェスト動画ばかりのようです。リアルタイムのライブ配信の場合、開催日当日だけの可能性もありますが、せっかくのコンテンツですので、当日の臨場感を味わえる見せ方をしそうなものですが、そういうサイトはありませんでした。

ITEAの光通信工事技能競技会の場合、ダイジェスト動画だけでなく、上位入賞チームの競技模様も複数見られるようになっています。成績優秀者の模範演技を見直して参考にすることもできます。

少し残念だったのは、撮影を各通建会社の方が担当されたようですが、人によっては遠慮がちに遠くから撮影していたり、逆に選手が大きく写るよう近寄って撮られていたり、動画のアングルにムラがあったことでした。もちろん、競技の邪魔になるのはいけませんが、もう少し動き回って選手の一挙手一投足をもれなく撮影できると良いのにと思いました。 (Y.H)

こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

Raisers第71巻 第5号 (通巻第762号) 2023年9月10日発行

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水会ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)